

和名は「チャネルキャットフィッシュ」

みんなの アメリカナマズ ガイドブック



外来魚のナマズ
国内で分布拡大中



国立環境研究所琵琶湖分室



北米原産のナマズ、分布拡大中

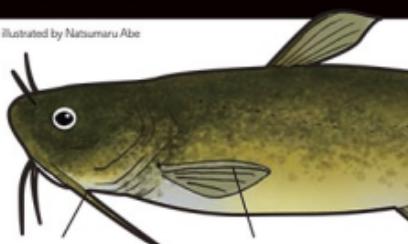
近年「アメリカナマズ」と呼ばれる北米原産の外来魚、チャネルキャットフィッシュが日本国内の川や湖でも見つかるようになってきました。アメリカナマズは雑食性でなんでも食べて大きくなることから、在来の生き物との競合が懸念されるほか、漁獲物の横取りや、ひれの鋭いトゲによる漁業者のケガなど、人間活動への影響も無視できません。しかし、アメリカナマズの

生息が確認されている水系では、かれらが現在、どのくらい数を増やし、どこまで分布を広げているか定かではありません。また、たとえ釣り上げられても、見た目によく似た日本のナマズと混同されてしまい、かれらの分布拡大が見逃されている可能性もあります。アメリカナマズの見分け方を覚えて、かれらの分布拡大の最前線と一緒に追いかけましょう！

■ 基本情報 ■

和名	チャネルキャットフィッシュ (通称 アメリカナマズ)
英名	Channel catfish
学名	<i>Ictalurus punctatus</i>
分類群	硬骨魚綱 ナマズ目 イクタルルス科

Illustrated by Natsumaru Abe



口の周りに
8本のヒゲがある。

背びれと胸びれには
太く鋭いトゲが1本ずつある。

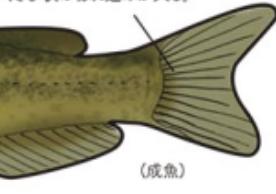
体表はウロコのない
すべすべした感触。

最大1メートルほど
にもなる大型のナマズ。

体長30センチくらいまでの幼魚では、銀色の体色に黒い斑点が散らばる。

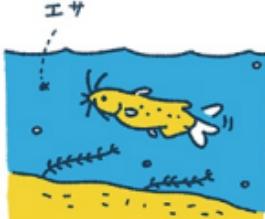
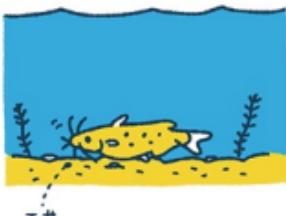


大きな尾びれは
くさび状の切れ込みが入る。



どんなエサを食べるの？

雑食性で動物・植物を問わず何でも食べますが、幼魚は昆虫やエビなどの小動物を、成魚は小魚を主食とする。湖では底近くでエサを探す一方、川では水面から川底まで幅広く泳ぎながら、上流から流れてくるエサを待ち構える。



元々の分布は？

ロッキー山脈以東のカナダ
南部、米国（アラバチア山脈
以東を除く）、メキシコ。

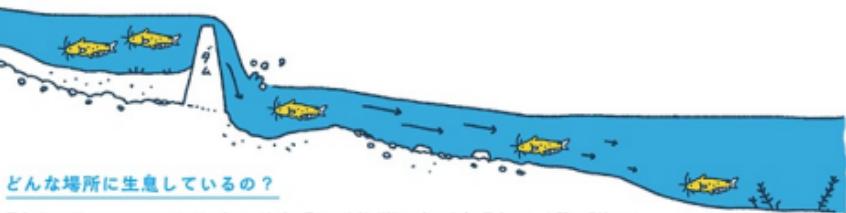
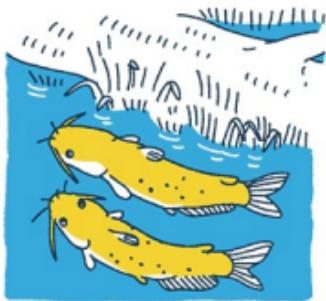


いつどこで繁殖をするの？

繁殖期は春～夏で、水温20°C以上で産卵がみられる。産卵時には岩や木の陰、土手の下の穴などに雄が巣を作り、卵が孵化するまで保護する習性がある。

どの時間に活発になるの？

一般的には夜行性とされ、夜に岸近くの浅場まで寄ってくるようだが、晴れた日中に釣り上げられることもある。

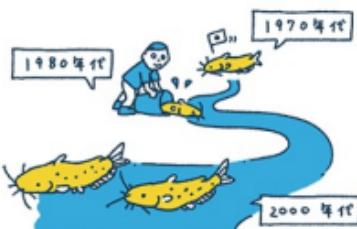


どんな場所に生息しているの？

原産地では流れのゆるやかな河川の中～下流域や周辺の水路、湖沼に主に生息。国内では、上記の環境のほかにダム湖でも多く見つかっている。また、少数ながら河川の上流域（渓流）で釣られた例もある。

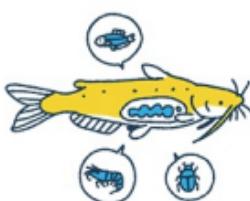
日本への導入経緯

1970年代に食用目的で米国から輸入・移植され、1980年代に初めて自然水域（江戸川）への逸出が確認された。2000年前後から利根川や霞ヶ浦では個体数が急増し、2005年以降は、国内の他の水系でも確認が相次いでいる。



外来種としてのアメリカナマズ

日本国内のアメリカナマズは、2005年に特定外来生物、2018年には緊急対策外來種に指定され、分布拡大の把握と効果的な防除が必要とされている。この背景には、アメリカナマズがもたらすさまざまな問題への懸念がある。具体的には、在来生態系への影響（在来生物を捕食する、在来生物とエサやすみかの競合が起こる）、内水面漁業における人的/産業的被害（鋭いトゲで漁業者がケガをする、張り網の中で漁獲物を食い荒らす）、感染症の媒介（アユやナマズ類の細菌性感染症の宿主として知られる）、等が挙げられる。



アメリカナマズ 分布マップ



国立環境研究所琵琶湖分室では、アメリカナマズの分布の現状把握を目的として、色々な手法を併用して情報収集を進めてきました。右に示すマップでは、これまでに行なった、文献調査、公開データベースの探索、モバイル端末を利用した市民参加型調査、およびウェブ上での情報検索を通じて判明した、アメリカナマズの出現情報をまとめています。もし、マップ下段のリストで「?」マークのついた情報不足の水域や、リストに載っていない水域でアメリカナマズが釣れた際には、本冊子に記載の連絡先までぜひご報告ください！



北陸 (神通川とその周り)

- † 白岩川 (富山)
- † 神通川 (富山)
- ? 宮川 (岐阜)
- ? 下小島ダム (岐阜)

中國 (内浦湖)

- † 白岩川 (富山)
- 神通川 (滋賀)
- 濑田川 (滋賀)
- 宇治川 (京都)
- ? 木津川 (京都)
- 布目ダム (奈良)
- 淀川 (大阪)

関西 (琵琶湖・淀川水系)

- 矢作川, 矢作古川 (愛知)
- † 庄内川 (愛知)
- † 都田川水系 佐鳴湖 (静岡)
- † 握斐川水系 津屋川 (岐阜)
- † 東海市 中ノ池 (愛知)

関東甲信 (他の水系)

- ? 郡河川以北の河川 (茨城)
 - 荒川 (埼玉・東京)
 - ? 多摩川 (東京・神奈川)
 - † 西湖 (山梨)
- 利根川中流 (群馬・埼玉)
 - 渡良瀬川, 忠川 (栃木)
 - 鬼怒川, 小貝川 (栃木・茨城)
 - 龍ヶ浦・下蒲原辺 (茨城)
 - 利根川下流 (茨城・千葉)
 - 印旛沼, 手賀沼 (千葉)
 - 栗山川 (千葉)
 - 江戸川, 中川 (東京)

東北 (阿武隈川)

- 阿武隈川 (宮城・福島)

† 宮城湖 (島根)

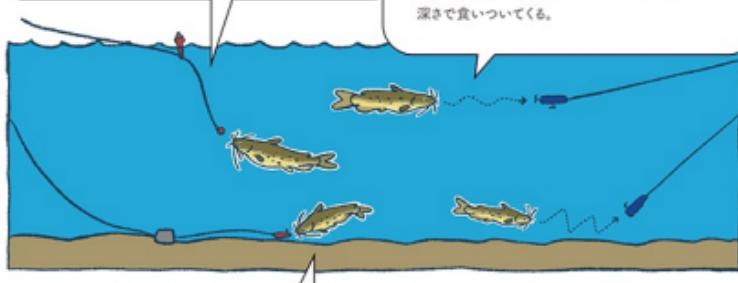
◎: たくさんいる。 ? : いる可能性あり。情報求む。 †: 今はいない。

チャレンジ! アメリカナマズ釣り

アメリカナマズ釣りは、使う仕掛けやエサに比較的自由が利きます。自分の手持ちor入手しやすい道具・エサ・ルアー等を組み合わせて気軽に狙ってみよう。

ウキ釣り (表～中層)

生きた小魚の1匹掛けや、匂いの強い魚（アユやサバ等）の切身エサで、日の出・日の入り前後が狙い目。電気ウキを使った夜釣りもオススメ。その一方で、ヘラブナ釣りの練り餌に食ってきたとの報告も複数あるので日中でも釣れる可能性あり。



ルアー釣り (表～底層)

小型魚に似せたノーワ・バイプレーション等のハードルアー、様々な形のソフトルアー（スイムベイトやワーム等）でも実績あり。表層、中層、底近くと幅広い深さで食いついてくる。

投げ込み釣り (底層)

よく使われるエサはミミズ、魚の切り身や、コイ釣り用の練り餌（投込み仕掛け）など。アメリカナマズが多数生息する霞ヶ浦では、レバー、ソーセージ、食パン等の代用餌でもよく釣れている。

Tips

50cm以上の大型を狙う場合は、竿：硬調の投げ竿または磯竿、糸：PEラインまたはナイロン3号以上、針：丸セイゴやヒラマサ針（フトコロの深い針）の12号以上がオススメ。逆に、20cm前後の小型サイズを数釣りするには、流線や狐バリ等の細い針を使い、時合を通して手返し良く釣れるかが勝負。投げ込み釣りであれば、2本針仕掛けも試す価値アリ。

【釣りレポート】



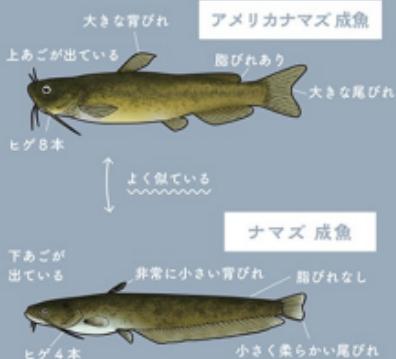
魚食性が強まるのは体長30cm超の中～大型個体とされるが、生きたオイカワを1匹掛けしたウキ釣り仕掛けで、30cmに満たない幼魚も釣れた。

投げ込み釣りで複数本の竿を出していたところ、日没直後（夕暮れ時）から日に入れ食いになった。体験談を聞き集めると、時合は1時間程度で終わることが多いようだ。

個体数の多い水域では、日没後も真夜中頃までは時折アタリがある。夜釣りではアメリカナマズ以外にも、ミミズ餌ではギギやウナギ、小魚エサだとニゴイやオオクチバスが釣れる。

アメリカナマズの見分け方

アメリカナマズは日本産のナマズの仲間と姿がちがはなくて、特に間違えられやすい2種(ナマズ、ギギ)と見分ける際のポイントをイラストで示してみました。



Illustrated by Natsumaru Abe

釣れたアメリカナマズの取り扱い

持ち運びは締めてから

アメリカナマズを生きたまま移動させることは外來生物法で禁止されています。持ち帰る時は必ず釣り場で締めてから。



再放流しない

一部の都道府県(木戸県、埼玉県)では、釣り上げたアメリカナマズのリリース(再放流)が法令で禁止されています。釣れた魚は締めて持ち帰るか、釣り場の近くに外來魚回収用ボックスがあればそこに入れましょう。



締め方は3通り

・氷詰め：氷水を張ったクーラーボックスに釣れた魚を入れる。小型魚向け。



・血抜き詰め：エラの根元や付け根にナイフを入れ、水に浸けて血抜きする。中型～大型魚向け。



・その場でさばく：そのまま持ち帰りづらい大型魚はその場で3枚におろし、身とそれ以外(アラ)を分けて持ち帰るもの一つの手。身はチャック付きポリ袋に、アラは新聞でくるんでからビニール袋に入れる。帰宅後の処理が楽。



アメリカナマズは元々、食用目的で日本に持ち込まれました。肉質は白身で弾力があり、淡白な味わいで非常に美味な魚です(概念ながら当時はあまり流行らなかったようですが…). アメリカナマズを使った料理は現在でも、霞ヶ浦周辺(フィッシュフライのハンバーガー)や飛騨地方(活造り・唐揚・蒲焼など)で提供されています。自宅で調理する際は、焼揚げやフライ等の揚げ物、煮付け、蒲焼などがオススメ。釣れたアメリカナマズは、外來生物法の規制により生かした状態での泥抜きができないため、食べる際はきちんと皮を引いて臭みを抑えられます。なお、アメリカナマズは骨が非常に硬く、ヒレにも脱いドグがあります。さばく時は十分気をつけて。



外来魚



幼魚

成魚

アメリカナマズを みつけたら？

正式名：チャネルキャットフィッシュ

写真を撮ってお送りください！

✉ biwako-sakana@nies.go.jp

🐦 @Mako_A_Yoshida

吉田 誠（国立環境研究所琵琶湖分室）



国内各地で、**外来魚のアメリカナマズ**が見つかっています。

アメリカナマズかもしれない魚を捕獲した際は、

ぜひお知らせください。



投稿いただいた貴重なデータは、国立環境研究所琵琶湖分室の実施する研究プロジェクト（「市民科学手法を活用した外来魚アメリカナマズの侵入前線検出」、研究代表者：吉田誠）において、アメリカナマズの分布予測に活用いたします。また、当プロジェクトで集まったデータを地図上で閲覧できるウェブサイト「外来魚アメリカナマズマッピングシステム（仮称）」の公開も予定しています。最新の情報は下記ウェブサイトからご確認いただけます。

<https://www.nies.go.jp/biwakobranch/projects/channelcatfish.html>

企画・監修：吉田誠（国立環境研究所琵琶湖分室） デザイン：きのしたちひろ

公益信託富士フィルム・グリーンファンド